

四季

- P2~5 法人本部について
- P6 発熱外来・コロナワクチン接種について
- P7 赤岩病院 院長・副院長就任のお知らせ
- P8 【トピックス】
赤岩病院新任医師紹介
消防訓練を行いました
- P9 【赤岩病院リハビリより】
実習生について
- P10 【赤岩荘での取り組みについて】
移行支援加算とは??
- P11 グループホーム エバグリーン



法人本部について



法人本部が何をするところかで存じでしょうか。

一般的に法人本部が果たす役割としては、社員総会・理事会の下で法人全体の運営管理を行い、事業運営を縁の下で支えるところ、それが法人本部の概ねの定義で、

1

法人の統括人事部門として、採用・人事管理・労務諸規定・研修・評価制度・勤怠処理・給与計算・社会保険適用等の適切な政策運用管理

2

法人庶務業務、施設の設備管理の支援等

3

医療環境の変化に対応した、健全な法人運営を遂行するための法人全体の決算、予算管理、資金管理、金融対策、経営分析等

4

法人の経営情報管理、方針にもとづく各種プロジェクトの企画立案・支援や広報本部機能等

とされており、「4大経営資源」と言われる「ヒト」、「モノ」、「カネ」、「情報」に大きく関わる部署となります。

④の経営情報管理に関する部分は抽象的でわかりづらいかもしれませんが、車でドライブすることに例えれば、事前に行先や道路事情を調べ、交通信号や標識類、メーター類を眼で見て、エンジン音や音声案内を耳で聞き、臭いや振動なども感じ取って、安全に運転操作をする、さらには緊急時の対応やトラブルの事後対応にも十分な備えをしておく、ドライバーの五感や知識・技能に当たるところとでも言えるでしょうか。

4月の新入職員歓迎会の際、理事長があいさつ中で触れられていました。法人本部はCIAとならなければならないと。

CIAは、アメリカ合衆国の対外情報機関の中央情報局(Central Intelligence Agency 略してCIA)で、スパイ映画やドラマなどによく登場しており、皆さんも良くご存じの存在だと思います。

当然、映画などフィクションの世界とは異なり、法人本部に派手なアクションを求められているわけではありません。

元祖のCIAの公式任務は、世界中から国家安全保障に関する情報を収集・処理・分析することとされており、光生会の法人本部も求められるものはほぼ同様で、





正確な情報を収集して、収集した情報を分析し、分析に基づいて適切な対応を進めていくこととなります。

光生会を取り巻く社会環境の変化や医療福祉に関する情報の収集・処理・分析を行い、事業改善や新たな取組みに展開、推進していく、まさに本部の果たすべき使命(Mission)を表しているわけです。

加えて、“形のない財産” “目に見えない財産”、例えば患者・利用者の皆さんや地域社会からの信頼、多方面な分野との関係性、組織風土といったものも重要な経営資源の一つで、これまでに培ってきたものを活かし、さらに磨き、積み上げていくことも必要となります。

そうした経営資源を最大限に活かし、光生会が継続・発展を続けていくためには、光生会病院、赤岩病院、赤岩荘、法人本部の間のスムーズな情報のやりとり(意思疎通)が不可欠で、組織として機能できるかどうかの鍵になるものと考えています。

この様な役割機能を果たすべき法人本部ではありますが、職員の皆さんが本部を身近に感じてもらえるものに「相談機能」があります。具体的な機会としては、職場での悩み事の相談があった場合や、福利厚生の手続き、年末調整や保険証の手続きなどの場合で、各職場の庶務を通じ手続きすることが大半とはなりますが、必要な際には本部にも遠慮なく相談、お問合せいただければと思います。それまでの手狭な相談ブースだった旧の建物とは異なり、新本部棟ではプライバシーにも配慮した職員面談室、応接室(写真参照)も完備しました。



令和4年度現在、光生会の法人本部では、総勢10名、人事・経理課と管理課の2課体制で前頁とほぼ同様な業務に加え、医療消耗品の供給・在庫・加工などの物流を、一元管理するSPD(Supply Processing and Distribution)にも鋭意取り組んでいます。



山積する課題にどう取り組んでいくか頭を悩ませている毎日ですが、一日も早く期待に応えられるよう、「見掛け倒し」と言われないよう、器(新本部棟)に見合った機能を発揮できるよう、気持ちも新たにしっかり取り組んでいこうと考えています。

是非、本部へお越しの際には気軽に声掛け、率直なご意見などをいただければ幸いです。新装なった法人本部、敷居は高くありませんので、気軽にご利用いただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

新法人本部概要



このたび本部事務所を移設する運びとなりました。令和3年6月ころより着工が始まり、令和4年4月上旬に完成し、令和4年4月16日に無事事務所引っ越しを終えました。

業務上お困りのことやご不安なことがありましたら、職員が各々の職場において各自の業務に専念できるように、ぜひ積極的に本部をご活用ください。

新本部棟では2階が事務所、1階は会議室と応接室になります。応接室を拡充させたので、従来よりも来客対応がよくなるようになりました。応接室1はミーティングルームとして活用することも可能です。



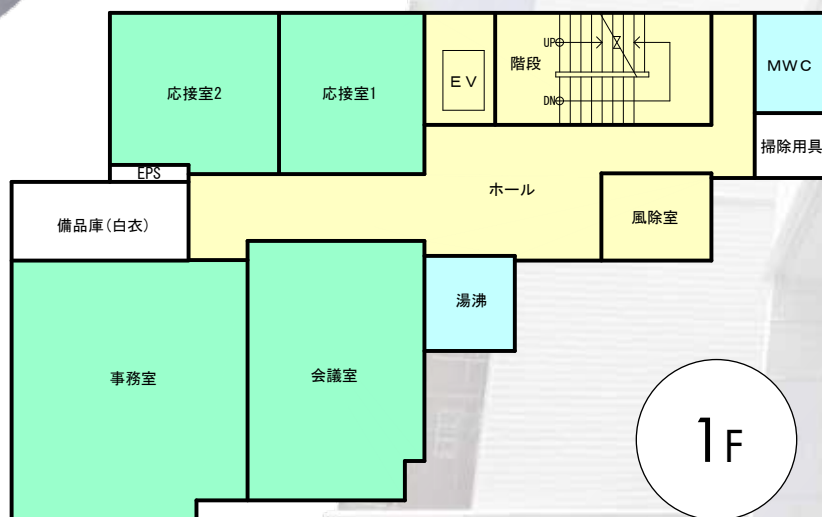
外 観



応接室 1



応接室 2



1F

会議室



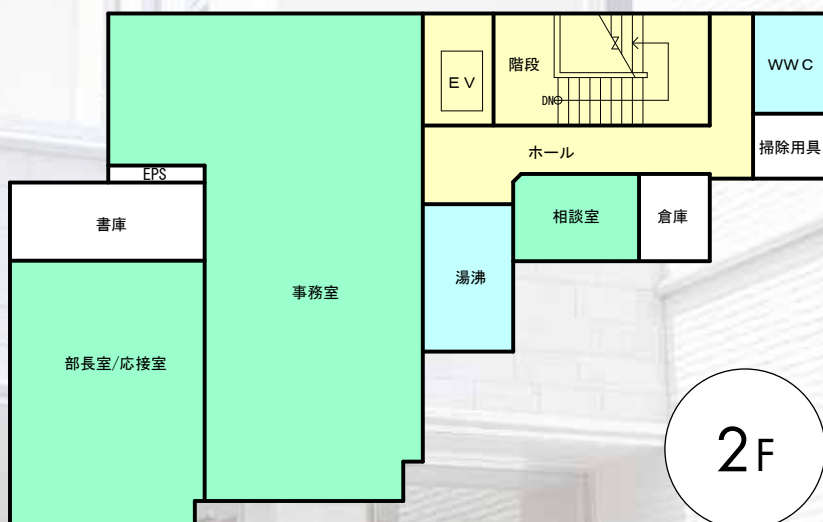
職員面談室



会議室では、今後入社式や新入職員研修を行うことができるようになりました。



地下倉庫



なお、本部事務所に御用の場合は、セキュリティの関係上本部に入る自動ドアにはロックがかかっていますので、インターホンを鳴らして呼び出してください。開錠されましたら2階事務室へお越しください。
今後ともよろしくお願いいたします。



発熱外来・ コロナワクチン接種 について



光生会病院では地域の皆様が体調不良となった場合、安心して受診いただけるよう発熱外来を開設しております。発熱・風邪症状の方の受診の際は、来院前にまずお電話(0532-61-3166)にてご連絡をお願いいたします。

発熱外来について

令和3年7月から令和4年6月までの1年間で、2,297名の方が光生会病院の発熱外来を受診されました。



令和3年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
受診者数	75	107	78	46	44	35	
令和4年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
受診者数	210	522	352	259	230	339	2,297

新型コロナワクチンの接種状況について

光生会病院では令和3年7月から令和4年6月までの1年間で、職員や地域住民の方に対し10,484回の新型コロナワクチンの接種を実施いたしました。



令和3年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
接種回数	2,136	2,066	2,742	680	186	235	
令和4年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
接種回数	183	434	744	594	304	180	10,484

当法人として今後も感染拡大防止のため、地域住民の方のために発熱外来診療・新型コロナウィルスワクチンの接種などの医療の提供に引き続き積極的に取り組んでまいります。



赤岩病院 院長・副院長就任のお知らせ

令和4年4月1日より、赤岩病院院長に佐藤元彦医師が、
赤岩病院副院長に赤澤貴洋医師が就任いたしましたので、お知らせいたします。



赤岩病院 院長
佐藤 元彦

令和4年4月1日より赤岩病院の院長を拝命いたしました佐藤元彦です。当院では、医師・看護職・介護職・リハビリ専門職などの様々な職種による総合的なチーム力のもと、生活上の支援や医療・介護を提供し、利用者様に個性豊かで明るい幸せな日々を送っていただくことを目標としています。地域の皆様に信頼される病院として機能を果たすべく努力してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【略歴】

昭和60年 藤田保健衛生大学医学部卒業
藤田保健衛生大学病院
平成 3年 国立療養所中部病院
平成 5年 藤田保健衛生大学医学部
平成16年 豊橋元町病院
平成17年 岡崎三田病院
平成26年 赤岩病院

【所属学会・認定等】

医学博士
日本医師会 認定産業医



赤岩病院 副院長
赤澤 貴洋

このたび令和4年4月1日付きをもちまして、医療法人光生会赤岩病院の副院長を拝命いたしました、赤澤貴洋です。もとより微力ではありますが、少しでも皆さんのお役に立てるよう、全力を尽くす所存です。是非ともお気軽にお声がけください。今後ともよろしくお願いいたします。

【略歴】

平成12年 金沢医科大学医学部卒業
平成13年 名鉄病院
平成14年 名城病院
平成25年 名城病院 腎・糖尿病内科医長
平成28年 赤岩病院

【所属学会・認定等】

日本内科学会、日本感染症学会、日本透析医学会、日本人間ドック学会、日本静脈学会、日本臨床倫理学会、日本糖尿病協会、日本食品安全協会、日本グリーンケア協会、日本フードアナリスト協会、日本医師会 認定産業医、日本感染症学会 認定ICD、日本人間ドック学会 認定医、日本糖尿病協会 療養指導医、日本臨床倫理学会 認定臨床倫理認定士、日本食品安全協会 認定健康食品管理士、日本グリーンケア協会 認定特級グリーンケアアドバイザー
日本フードアナリスト協会 認定フードアナリスト下肢静脈瘤血管内焼灼術研修終了、回復期リハ病棟専従医研修終了、第52回日本透析医学会学術集会 ゴールデンリボン賞受賞

佐藤元彦院長、赤澤貴洋副院長のもと、地域の皆様のご期待にお応えできますよう、引き続き病院一丸となって、よりよい地域医療の発展のため努力してまいります。何かお気づきのことがございましたら遠慮なく御指摘下さい。今後も新体制となった当院の運営にご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

★新任医師紹介★

令和4年4月より、赤岩病院で勤務することとなった先生を紹介いたします。



赤岩病院
平井 和哉 先生

令和4年4月より医療法人光生会赤岩病院に勤務しております平井和哉です。
専門は腎臓内科で以前は透析医療にも携わっておりました。赤岩病院では自分の経験を活かし、患者様へ寄り添えるような医療を目指して頑張らせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【略歴】

平成24年 藤田保健衛生大学医学部卒業所属学会
平成24年 国立病院機構 豊橋医療センター
平成26年 愛知医科大学病院
平成29年 多治見市民病院
平成30年 医療法人豊岡 浜松とよおか病院勤務
令和 4年 医療法人光生会 赤岩病院

【所属学会・認定等】

日本内科学会 認定医
日本腎臓学会
日本透析医学会



消防訓練を行いました

令和3年12月、豊橋市消防本部の方による現場指導のもと、消防訓練を実施しました。本館2階診察室より出火したとの想定のもと消火訓練・通報訓練・避難訓練を含む総合訓練を行いました。訓練での緊張感を日々の日常業務にも生かしていき、職員全体の防災意識を高めています。こうした訓練を何度も行う中で、いざという時の病院の「安全と安心」を守ることができるよう、日々努力してまいります。

／ 備えあれば憂いなし ／



お詫びと訂正

広報紙「四季」2022年1月号に掲載しました記事におきまして、本来掲載すべきではないところを、誤って掲載してしまいました。

8ページ「紙上クリニック」図6および図7のタイトルについて、削除させていただきます。

2) 部位別のがん罹患率

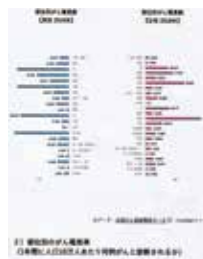
(1年間に人口10万人あたり何例がんと診断されるか)

2) 部位別のがん死亡率

(1年間に人口10万人あたり何人死亡するか)

ご愛読いただいている皆様、関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

【誤】



【正】



【誤】



【正】





赤岩病院 リハビリより



実習生について

赤岩病院は豊橋創造大学保健医療学部の特設研修施設となっており、また他のリハビリテーション養成校からも年間を通して多くの実習生を受け入れています。このため患者様に対して見学をはじめ各種検査・治療の補助をさせていただくことができます。今回は実習の流れについて紹介させていただきます。

リハビリの実習は**CCS(クリニカルクラークシップ)**という診療参加型実習の形式で行われます。

CCSとは

リハビリを患者様・療法士・実習生のチームで行い、実習生はそのリハビリの実体験を通して臨床能力を学んでいくものをさします。実習生にはリハビリの補助として加わっていただきます。リハビリの補助を経験することで、教科書的な知識だけでなく、臨床的な考え方や接し方などの机上では学ぶことのない知識をより身近に感じることができます。療法士の働き方に近づけることで、臨床で動ける人材を育成していくことを目的とします。



CCSは「見学」→「模倣」→「実施」の工程を経て段階的に指導していきます。

① 見学

実際の技術を見せどのような手順で、なぜ必要かなどを指導します。



② 模倣

直接手ほどきをして、技術を指導していきます。



③ 実施

療法士の監督のもと、患者様の状態に気をつけながら実習生が一連の流れを行います。



医療法人光生会では、患者様の治療はもちろんですが、人材の育成にも尽力しております。コロナ渦ではありますがご協力のほど、よろしくお願いいたします。入院時に説明をさせていただいております。なお、ご了承いただけない場合にはその限りではございません。



赤岩荘での取り組みについて



移行支援加算を
ご存じですか？

移行支援加算とは??

通所・訪問リハビリテーションの基本方針は「心身に障害を持つ人々の全人間的復権を理念として、単なる機能回復訓練ではなく、潜在する能力を最大限に発揮させ、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を可能にし、その自立を促すものである。リハビリテーションは『心身機能』『活動』『参加』などの生活機能の維持・向上を図るものでなければならない」とされています。それを念頭に平成27年の介護保険改定時に社会参加支援加算が新設されました。その後、令和3年4月に移行支援加算と名称が変更となっています。国は慢性的に通所リハビリテーションを利用するのではなく、必要な利用者様へリハビリテーションが実施できるように循環させていく事が必要と判断しています。この加算は一定の移行者を輩出している事業所に対しての評価である。



リハビリテーションによって日常生活動作(ADL)や手段的日常生活動作(IADL：買い物、調理等、社会生活を送る上で必要な手段)が向上することにより、家庭内での役割や社会への参加につながり、他のサービス(指定通所介護、認知症対応型通所介護、一般介護予防事業など)に移行できた場合に算定できる加算です。



赤岩荘では通所・訪問リハビリテーションで算定しています。

～移行者がいるという事は一定の期間で質の高いリハビリテーションを実施している～
まだ少ないですが、移行支援に繋がって行ければと考えています。



利用者様から終了の申し出・
もしくは
リハビリ目標の達成



利用者様・ご家族、
ケアマネ、リハスタッフ・
関係事業所との相談



デイサービス・
地域の介護予防サロン、
家庭での役割獲得により
デイケアの利用終了。
終了後の状態を確認。

(ただし、強制的に終了をしていくわけではなく、利用者本人からの訴えや、ケアマネ、ご家族様との相談の上
終了となり、その後の他事業所や一般介護予防事業、復職が継続的にできるように支援していく形となります。)

- ・評価対象期間中にリハビリテーションの提供を終了した日から起算して14日以降44日以内に、リハビリテーション終了者に電話や自宅訪問等により、指定通所介護等の実施状況を確認し、記録すること。
- ・リハビリテーション終了者が指定通所介護等の事業所へ移行するにあたり、当該利用者のリハビリテーション計画書を移行先の事業所へ提供すること。

終了後の利用者様の状態を確認し、社会参加出来ているか確認、必要なアドバイスを適宜行っていきます!!

グループホーム エバグリーン

グループホームは、認知症高齢者が家庭的な雰囲気の中で、ゆったりと穏やかに過ごせる施設です。職員が24時間体制で常駐し、入居者の生活をサポートしております。少人数の単位で過ごし、家事や趣味など出来る範囲で行い、日々の暮らしを楽しむ生活を送ることによって、認知症の進行を和らげる効果があると言われています。

新型コロナウイルスの感染予防も当初よりも方向性や意味合いが変わってきている今日この頃ではありますが、エバグリーンの利用者の皆さまは高齢者ですし糖尿病、心疾患、呼吸器疾患などの基礎疾患を抱えている方もおられ感染すると重篤化する可能性が高いこともあり、感染症対策として外出制限や面会の制限は続いております。

ちょっとした散歩やドライブも出来るようになりましたが、マスクをつけて少人数でと気をつけながら帰設後は手洗いと消毒を徹底しております。

そんなコロナ禍の中でも、施設内の中庭という安全な空間で、マスクを外して思いっきり空気を吸い太陽に当たりながら楽しまれている様子を紹介します。



家庭菜園

エバグリーンでは、以前より芋掘りのイベントがありサツマイモを植えて収穫したりする畑がありました。現在では様々な野菜が植えられており、苗植え・水やり・収穫などの際に利用者様と一緒に土いじりをするのが活動の一つとなっています。

コロナ禍で出来ないことが増えた中で、工夫次第では家庭菜園は施設の大きな活動の一つとして育つのではないかと、今まで以上に力を入れております。



日光浴

中庭は、春は八重桜がきれいに咲き、秋の彼岸花や紅葉が楽しめる場所でもあります。また、昨年からの職員の寄付の鯉のぼりを春に飾るようになりました。光や風を浴びながら季節を楽しむ場所でもあります。

適度な日光浴は体内でビタミンDが生成されたりセロトニンを分泌させます。脳の機能が低下している認知症の方は特に日にあたり体内時計を調整しないと昼夜逆転の生活になったり、体調不良を起こしやすくなるといわれております。

施設見学や入所に関するご相談等あればエバグリーンまでご連絡ください！



みなさまの輝くいのち、守ります。

年に1度は健診を

～いつもと変わらない

何気ない日常が1日でも長く続くように。～

健診に関するご質問・お問合せは

総合健診センター

〒440-0045 豊橋市吾妻町137 フリーダイヤル.(0120)-613-266

TEL.(0532)61-3000 FAX.(0532)61-2962 メールアドレス kenshin@kouseikai-hp.or.jp

消化器疾患の早期発見・

早期治療を ～豊富な実績に基づく確実な検査～

消化器内視鏡検査に関するご質問・お問合せは

消化器内視鏡センター

〒440-0045 豊橋市吾妻町137

TEL.(0532)61-3166代表 FAX(0532) 69-3635



光生会病院 TEL.(0532)61-3166

総合健診センター TEL.(0120)613-266

消化器内視鏡センター TEL.(0532)61-3166代表

地域医療連携室 TEL.(0532)61-3213



赤岩病院 TEL.(0532)62-2105

医療病棟

介護医療院

回復期リハビリテーション病棟



介護老人保健施設 赤岩荘

TEL.(0532)66-1123

グループホーム エバグリーン

TEL.(0532)62-4434

交通の
ご案内

